



中学部、高等部 実習特集

実習は・・・

段階を踏んで、「働く力」を付けていく学習

中学部Ⅰ期 作業学習 パワーアップ週間

目的・やることが分かり、自分から行動する。

- ・社会生活のルールやマナー、コミュニケーションの基礎（挨拶や返事、報告・連絡・相談、言葉遣いなど）を身に付ける。



作業学習を1週間、毎日行います。慣れた環境や作業で集中力や体力、技術などを高めます。

高等部Ⅰ年Ⅰ期校内実習

目的・生活習慣（学校や家庭で身に付けてきた力）を確かめ、自分の業務適性や作業能力を知る。

- ・作業を通して、コミュニケーションの基礎を身に付ける。



校内に仮の事業所を設け、企業から提供を受けた資材の梱包や農作業など、一般企業や福祉サービス事業所に近い作業を2週間経験します。

高等部2年Ⅰ期校内・現場実習

目的・現場での経験を通して、社会生活に必要な知識、技能、態度、人間関係の基礎を身に付ける。

- ・自身の作業能力を知り、適切な進路選択や働き方の基礎を築く。



一般企業や福祉サービス事業所に1週間から2週間通い、職場の方と関わりながら業務を行います。自分の得意不得意を確認し、実際の働き方を知る機会になります。

高等部3年 校内・現場実習

目的・卒業後の生活に具体的なイメージをもち、働く意義や責任、社会人としての生活への関心や理解を深める。



一般企業や福祉サービス事業所に1週間から2週間通い、業務や作業を行います。卒業後に働く場と想定して実習を行うことで、社会人としての責任感を養います。

第25回秋田県障害者技能競技大会～アビリンピック秋田

Ability (技能) + Olympics (オリンピック) = Abilmpics (アビリンピック)

秋田県障害者技能競技大会（アビリンピック秋田）は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合う大会です。職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の障害者雇用に対する理解を深め、雇用の促進を目的として開催しています。本校から、4競技（ビルクリーニング、ワード・プロセッサ、オフィスアシスタント、縫製）に6名の生徒が出場しました。詳細はWeb増刊号に掲載します。ぜひアクセスしてください。



ビルクリーニング



縫製



ワード・プロセッサ



オフィスアシスタント

ビルクリーニング競技
金賞・県知事賞 佐藤怜奈
ワード・プロセッサ競技
金賞 齋藤駿介
銀賞 山崎唯人
オフィスアシスタント競技
銅賞 武藤泰雅

進路指導主事コラム

「自信と憧れが将来への第一歩」

本校では、赤い羽根共同募金の助成を受け、地域応援活動を行っています。

その一つとしてアクアパルに提供するプランターの植栽を、小学部と高等部農園芸班が一緒に行いました。実は、こうした地域応援活動や学部間交流も、進路学習の一つです。

その理由は以下の二つの点にあります。

地域応援活動は、活動に参加することにより、児童生徒が地域を応援する一員となります。また地域の方から届けられる感謝の声が、自信につながります。

学部間交流では、異年齢の児童生徒が、コミュニケーションを取りながら協力する経験をします。小学部児童は、身近な先輩から作業のやり方を教わることで、「自分もこうなりたい」と憧れを抱く機会になります。一方、高等部生徒は、普段の学習で身に付けた技術や技能を分かりやすく説明する必要があり、作業工程や注意点をしっかり把握して働いているかを確認する機会になります。

地域応援活動と学部間交流は、今後もいくつも計画されています。こうした活動で芽生える「自信と憧れ」を基盤に、将来への道筋を一緒に考えていきます。



(渡會 義信)

<お知らせ>

ゆり支援学校ホームページ内、進路指導部のページでは、進路だよりのカラー版をアップしています。実習の様子など、カラーでご覧になれます。また、増刊号（本誌とは別の写真を掲載）もアップします。ぜひアクセスしてみてください。→→→→→→→

